

# 郷の集い

発行 北川恒夫  
編集 北野久  
印刷 印刷

## 郷土を愛し立派な日本人となるように

校長 齋藤 義宣

卒業生のみなさん、六ヶ年の見事な終了おめでとう。ますます頑張って中学生生活にいどんで下さい。本校の卒業生の先輩達は、みんな立派な業績を中学校で残しています。今みなさんを送り出すにあたり、これから実行してほしいことを、幾つかあげてみます。心にとどめて立派な日本人として成長して下さい。

○心から挨拶できる人間  
大きな声で、心をこめて「お早うございます」「こんにちは」「さようなら」と言われる人になってほしい。言われた人は大変清々しい気持ちになります。形だけの挨拶は人の心をうちません。目上の人にも、友達同志でも、お互いに真心こめて挨拶することは、日本人の伝統美です。社会生活の第一歩だと思います。

○ものを大切に作る人間  
私は昭和二十一年中国大陸から復員してきました。

佐世保からの汽車の窓は殆んど木で張りつけられ、まるで貨物列車のようでした。お菓子屋の店、煙草屋の店等には、何一つ売られておられない、からっぽでした。家についていたら、翌日から島の開墾が待っていました。食物は勿論、衣類その他仲々手に入らず、現在の社会と比べると大変な違いでした。どんなものでも食べ、どんなものでも着ました。一寸した食物、衣類も本当に大切に大切に使いました。現在はそのあふれる程ありますが、うえや寒さに苦しんでいる人を偲び、物を大切に使用しよう心がけて下さい。

○感謝の気持ちを常に持つ人間  
どんな人でも自分だけで一日も生活することができません。みんな自分ととりまいてる人々や自然のおかげで生きて行けるのです。神仏の加護、両親や家族の愛情、地域の人々の目

○悪いことをにくむ人間  
みんなはもうよい事、悪いことの判断はつく筈です。最近のニュース等から、校内暴力とか、いじめの問題や、車内暴力等の事件が見聞されます。思うようにならないウツパンをこうした形で実行するのは卑怯です。弱い者、年寄りや子供をたすける風習は日本人の古くからの美徳でした。悪いと思ったことは、みんな協力して排除してゆく人格を持ちたいものです。

○地域に貢献する人間  
昨年で本校は地域のみならずの団結で、みちがえるような校舎、校庭が生れか

## 一年の任を終えて

北林 孫右工門

すべての子供達が心身ともに健全でたくましく豊かな人間性の育成を第一義とする私達PTAの願いをよそに最近の地域社会を含めた社会全体の教育力低下として考えることが必要と云われる今日ではないだろうかと思ひながら一年の終りに近くなつて来りました。

本年は校下民には待ちに待った新校舎が落成し、校庭には立派な校門、校歌碑、尊徳像いんとく松碑樹木等、心温まる品々を頂き心より感謝致します。そして広々とした外運での体育大会もかつてない校下あげての喜びであつて楽しい一日を過ごされました。又今年には開湯百年祭とあつて色々行事に参加してPTAと子供達との楽しい友情に支えられ心豊かな行事の一コマであつたと思ひます。この一年私達PTAも色々とわりました。それはここに学ぶみんながより、正しく強く、美しく育つてほしいと思ふ住民の心からの願いからです。こうした地域の一人々にむくいる唯一のこのとは君達が将来この校下のため日本のため正しく成長することです。頑張つて下

会合に出席をして家庭や学校教育に關しての理解や明日を担う子供の為にと幾つかの会場へ出席をして他の学校の色々な話を聞きPTAのあるべき姿を求めながら卒業して正しい活動向上をめざして前進して家庭、社会の連帯を強めることを努力しました。寒い冬も終り春が訪れ六年生の皆さんはこの一年間で新しい校舎ともお別れの日が近づいて来ましたね。とくにこの一年間は思ひ出深い年であつたと思ひます。又六年間一生懸命学んだことや雨の日も、風の日も毎日毎日学校にかよつて勉強をつづけたいかあつてめでたく卒業の日を迎えられ皆さんもきつとうれいでしょう。一年生の時から皆さんに教えてこられた先生方色々めんどうをみてこられたお父さん、お母さんもお喜びでおられます。皆さんは小学校で学んだことを基礎として中学校で勉強をしていっそう熱心に学んで下さい。最後にになりましたがご指導を賜りました校下民の方々PTAの方々諸先生方から敬意と感謝をささげ私の言葉と致します。

## 昭和五九年度新郷校 PTA事業報告(抜)

- 四月六日 PTA歓迎会
  - 〃 二六日 常任委員会
  - 五月一日 学級委員会
  - 〃 七日 学級委員会
  - 〃 二八日 PTA役員会 (開湯百年祭について)
  - 〃 二九日 両親学級
  - 六月一日 学級委員会
  - 〃 二四日 研修旅行 (和紙の里他)
  - 七月一〇日 保健体育委員会
  - 〃 一七日 保護委員会
  - 〃 二〇日 庶務、保体、地区体協合同打合せ (記念体育祭について)
  - 八月五日 一〇〇年祭行事参加
  - 〃 七日 合同打合せ (保体、体協、農協婦人部)
  - 〃 二六日 PTA勤務奉仕作業
  - 九月一五日 校舎竣工記念体育祭
  - 一一月一三日 両親学級
  - 一二月二一日 保護委員会
  - 一月一七日 PTA委員長、副委員長会
  - 二月四日 両親学級
  - 〃 二七日 企画委員会
  - 三月二日 学級委員会
  - 〃 六日 PTA総会
- 右記のほか、八月、十二月の二回廃品回収を行う。

# さあ旅立とう



川越

ぼくが、今心に残っていることは、先生におられたたかれ、またほめられたことである。それに、友達がふざけ合ったことや、学が合ったことは、中学校になっても忘れないうらう。今までは勉強もきつくなかつたけど中学になったら何もかもきつくなると思う。これからはもっと身を引きしめていきたいと思う。ぼくたちは、その思いとともに中学校へ向かう。でも、中学校へ入学する喜びや不安、夢と希望が心の中で入り混っている。中学生になっても学習にはげみ、強い体を作り正しい心を持ち続けたいと思う。



北川

新校舎で卒業式をむかえるぼくには、たくさん思い出があります。修学旅行、水泳大会、運動会、三泊四日の若き湾少年自然の家で

の生活、スキー教室などで一番心に残っていることは総合落成式で児童会長として喜びの言葉を述べたことです。こんなことがやれたのも、先生、みなさんのおかげだと思えます。

いろいろな勉強した事を、中学生になっても忘れずにがんばりたいと思います。最後に校長先生、始め先生方いろいろご指導くださった。ありがとうございます。



野内

小学校生活も終わりに近づいてきました。この六年間をふりかえってみると数えきれないほどたくさん思い出があります。一年のころから宿題を忘れ何度もしかられましたが、今では、そんなこともなつかしく感じます。もつと一生けん命やっておけばよかったな、と思われることもあり。中学生になると小学生と違う生活になりますが、みんなの足でまといにはならないようにがんばりたいと思います。もうすぐ中学生



吉井

この六年間には苦しかったことや楽しかったことなどいろいろ思い出がたっさりあります。一番うれしかったことは、一年間だけ新校舎に入れたということです。わからないところやできないところは先生が一つ一つ教えてくださいました。十名が、バラバラになつてしまふと思うときも、新しいような気もするけど、新しい友達をたくさんつくって、仲良くしたいと思えます。中学校でも、新郷で学んだことを、もとにしてスポーツにも、勉強にも、一生けん命がんばりたいと思っています。



東

ぼくは、この六年間ふざけてばかりでした。いつもふざけて先生に迷惑ばかり

かけてすみませんでした。六年間をふり返ってみると、楽しかったことや苦しかったことが次々と思ひ出されます。夏休みは水泳の練習や百年祭の練習で、とてもたくさんなつてしまいましたが、でも楽しかったことも、いっぱいあります。中学生になつたら、スポーツにも、勉強にも一生けん命がんばり、友達もいっしょに楽しくやっています。

もう何日かで卒業です。一年から六年までには、つらかったことや楽しかったことや先生におこられたことも、いろいろな思い出があります。六年生では、修学旅行、若き自然の家、六師スキーなど、楽しい行事がありました。それで、友達がたくさんできましたが、もつと、つくりたいと思えます。中学になると科目ごとに先生が変わるので小学校とはちがった感じになるので、ちよつぱり不安もあります。部活などもあり一生けん命がんばりたいと思えます。小学校で習ったことを守り、勉強にスポーツにぶつかつていこうと思えます。



高戸

早いもので、六年間があつたという間に過ぎ去つてしまいました。その間に、いろいろなことがありました。修学旅行、開湯百年祭、三泊四日の若き湾少年自然の家、また六師師でのスキー教室など、いろいろな楽しい行事がありました。また、先ばいを楽しみにしていた、新体育館や新校舎にも入ることができてうれしく思っています。

もうすぐ中学生。長いようで短かつた六年間。いろいろなことがありました。運動会や遠足、楽しいことばかりでした。ときには苦しいこともあつたけど、この六年間を悔いのないよう



北嶋

去年は、芦原開湯百周年



西正

卒業も近くなりました。楽しかったことや、いやだなあと思つたこと、しかられたことなど、いろいろな思い出があります。六年間がとて短く感じられます。六年生の時には、スキー教室のときや、ほかにもいろいろと、山口先生、校長先生、その他の先生にお世話になりました。中学校に入学すると今までの勉強や運動よりもいっそうきつくなります。もうすぐ中学生。中学校に入学しても、先生のおっしゃったことを忘れずに、勉強に、運動にがんばりたいと思えます。



斉藤

去年は、芦原開湯百周年





新しい学校ができて早一年もう卒業です。五年生の時、古い校舎で新しい校舎ができるのを、首を長くして待っていたかいたが、あってこんな立派な学校に入れたら、いいなと思いました。修学旅行自然の家での三泊四日、六呂師スキー教室など楽しい思い出がたくさんあります。わたしはちやうど芦原百年祭にあたりだったので、夏休みは、いつもの倍忙しかったけれど、どれもいい思い出です。中学生になったりも、とわからないことや、難しいことがまわっていると、思います。でもそのことを、できるまでがんばろうと思、います。六年間本当にあり、と、うございました。



篠崎

# 人々の中で



担任 山口達男

世の中にはいろいろな人がいます。威張っている人、おこりっぽい人、気が小さい人、優しい人、冷たい人、同じ人間なのに不思議ですね。そんないろいろな人々が集まって出来ているのが、家族であり、学校であり、会社であり、社会なのです。性格や考え方の違う人々と暮らしていくと、気に入らないこと、腹立たしいこと、つらく苦しいこと、と、当然出て来ますし、自分の思い通りにならないことの方が多と思います。そんな時、君達はどうするでしょう。「あの子が悪いんだ。」「親のせいだ。」「先生がいけないんだ。」などと人のせいにしては、しませんか。自分を見失ってしま、う。恥ずかしいこと、です。わかっていても、素直になれない時もあります。しかし、ここで冷静になれる人、難しいことですが、自分の悪い所を反省し、他人のあやまちを許せる人に

な、って下さい。立派でなくても、かっこよくなくても、素直で心優しい人になって下さい。付け加えて、今までたくさんの人々のお世話になってきたこと、そして、これからもそうであること、を決して忘れず生きて下さい。「人々の中の私」いつも考えなければならぬことだ、と思います。

最後になりましたが、卒業おめでとう。教師になって初めて受けた持った君達十名を私は決して忘れません。この二年間、本当に楽しかったです。お別れするのは寂しいですが、どうか中学校でも元気に頑張ってください。君達の活躍を心から期待しています。さようなら

- 九一〇一四一 坂井郡芦原町舟津
- 四三二二〇 芦泉荘寮
- TEL 七八一
- 九一五 武生市帆
- TEL 〇七七八
- 二四一

鼓笛パレードに寄せて

藤井 さち江

ピーピッピーピッピー  
彼等の背すじが伸び、きりつと顔が引きしまった。あの足の上げ方、楽器の構え方。一度だつて見せたことのないものでした。今朝も、路上での練習の時「こんなたるんでるんでは、とてもパレードでは堪えられない。」



四月に、パレード参加が決った時から、心配でたまりませんでした。六年生は十人しかいなく、しかも、四年以上オールキャストです。七月までに何とかものにせねばと頭から離れませんでした。音出し、又、炎天下のアスファルト

と、大声でどなったのは誰だつたのでしょうか。行進の間中、私と言えは、ただ宙を歩いている様でありました。そして、あっという間に、パレードは終つてしまつたのです。

の道を一人の落伍者もなく行進できるだけの体を作る。これが、まず、しなければならぬことでした。自然

と私の声はだんだん大きくなっていきました。とうとう中浜までも聞えた後で聞き、赤面のいたりでした。七月になると、まだ校庭が整備されていなかったので、道の練習が毎日続き、回りの人達にずいぶん迷惑をかけました。ですのに、田かけ上つて拍手して下さる人もいて、子供達も一段と元気がわいてきました。

八十島先生と二人がいきづまっていた時も、「さあドンチャカカの間」と学校上げての先生方のご協力、本当に有難いことでした。それにも増して、大きな楽しみがありました。一日一日と、彼等は可能性を引き出しては見せてくれ、教師冥利にひたらせてくれました。本当によくやってくれたと感謝しています。

カーパレード

齊藤 豊

去年は芦原町として、七月二十一日より八月二十日まで、開湯百周年、町制五十周年、合併三十周年と言う節目を記念して各地区より色々な夢と希望を想像しながら一ヶ月間に渡る行事が好評の中に幕を閉じまし

た。私達新郷地区の区長会として、八月一日のカーパレードに二台参加する事となり、一台は、開湯百周年にふさわしい作品である様に

と、後一台は、新郷地区の伝統ある太鼓の音を、町民の皆様に聞いて頂きたく思い、区長会は、一部の方々にお願い致しまして、勤めを返上致し作品の準備や、太鼓の練習にと忙しい日々でした。

当日のパレードには、炎天下の中を、区長会と、参加者十六名の皆さんによる日頃の成果を見ていただきました。見物の人達からの拍手と、歓声を耳に致しました時、暑さも一度にふつとびいつか忘れられていた心のふるさとを呼びもどされた思いでした。

話題'84



子供みこし作りに参加して

T・K

芦原温泉開湯百周年行事として新郷子供会も参加することになりPTA会長以下各委員がムギワラを材料に選り製作に入りました。



子供みこし作り何分始めてのみこし作りでもあり、いろいろ検討を重ねながら進めましたが特に気をつかったものはみこしの型それに小学生が担ぎ手でもあり重量を軽くすることに苦労いたしました。毎日夜二、三時間をかけてようやく完成にこぎつけました。

いよいよ当日みこしを会場へ運びました各各地区とも立派なみこしがならんでいました。私共のみこしを見て「良く出来ている。くろうとが作ったのではなからうか。」という声を聴き内心「どうだ」という気持ちをおさえ、いよいよ出発子供達も他のみこしより立

派とのほりを持って、かけ声も勇く温泉街へ出て行きました。当然ながら見物客が注目したことは勿論であります。全日程を修了することができました。新しい校舎や体育館、根づいた陰徳松が、みこしを製作してよかったこと感じた次第です。もう二度とこのような事は無いだろうと思うこの頃です。

落成記念体育祭

新郷地区体育協会

九月十五日、秋晴れのもと、約五百名の、児童地区民の参加のもと、落成記念体育祭が挙行されました。

直線コースを全力で走っている児童の姿、楽しそうに踊っている園児の姿、アイデアに富んだ競技に熱中している地区民の姿が印象的でした。

この大会を行うにあたり、七月二十日と八月七日の二回にわたって、新郷小ランチルームで打合せ会がもたれました。学校、区長、体協、婦人会等の役員さんが集まり、日時、名称、種目の決定などが協議され、

優勝 中浜 次勝 河間 三位 河水苑 三位

PTA研修旅行

Y・S



今回(六月二十四日)のPTA研修会は、今立町の紙すき工場、造り酒屋の見学、そして、朝倉遺跡、県立博物館、県会議事堂、県庁と駆け巡るコースでした。今立町大滝という所は、紙すきもさる事ながら、国の重要文化財に指定されている。大滝神社の荘厳なる神殿、杉の太木に、歴史の重みを覚え、興味深く拝観遺跡、博物館は別として、議会場、県庁の貴賓室などは、個人で見学するにはむずかしい場所柄故に、この研修会で、良い体験をさせていただいた。

# 新郷小学校校総合落成式

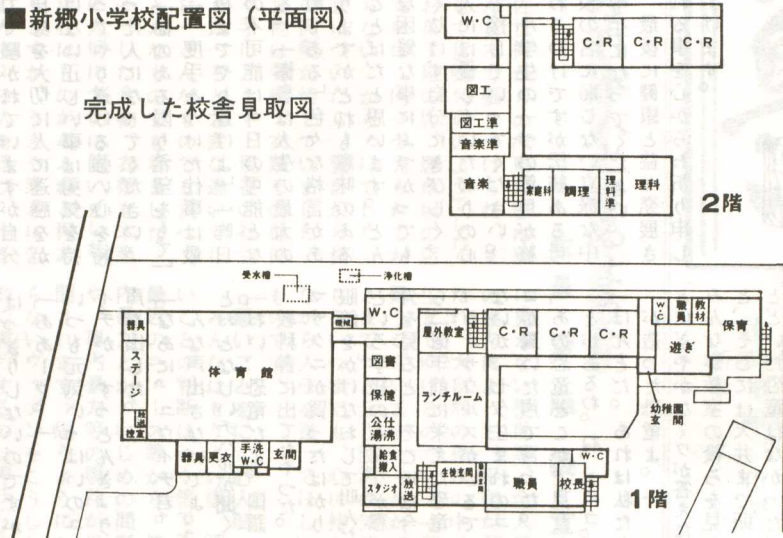
昭和五十九年九月十一日  
総合落成式が行われました。  
屋外運動場など校庭整備工  
事も終え、校下区民やPT  
A寄贈の校門も立派に完成  
し、小規模ながら明治二  
十五年から一世に近い校史  
を誇る立派な施設となり完  
成を喜び合いました。

総合落成式は全面改築事  
業のトップを切って完成し  
た屋内体育館で開かれた。  
全校生や教職員、PTA  
教育関係者、来賓ら約三百  
人が出席し、国歌斉唱に続  
いて斉藤町長が「開湯百年  
の記念の年に披露された白  
亜の殿堂が二十一世紀に生  
きる児童の育成、地域民の  
文化、健康づくりに十分活  
用されることを期待する」と  
式辞を述べられ、引続き  
山岸教育長の工事工程報告  
感謝状贈呈後、江藤教育委  
員が「立派な学校を大事に  
しよう」と告辞、北川県議  
ら来賓も次々とお祝いの言  
葉を述べ、最後に斉藤校長  
が謝辞、そして児童会長が  
「新しい校舎を大切に使い  
勉強やスポーツに励みます  
と誓いのことをのべ無事  
式が終了いたしました。」



### ■新郷小学校配置図（平面図）

### 完成した校舎見取図



吉江照雄

新郷校下の皆様、小学校  
総合落成お目出度う御座居  
ます。  
校下百年の念願でありま  
した小学校が県下に類のな

い規模が建築されました。  
此れには校下の皆様方の  
熱意と小学校に対しての愛  
護のたまものであります。  
過去におきましては、廃校  
又は統合と言う問題にあ  
い地区上げての反対運動も  
た事もあります。町村合併  
により、四集落が三国町人

そのため児童数は少なくな  
り学校運営は本当にくるし  
くなりました。  
昭和五十二年度に学校改  
築の気運が高まり、土地改  
良も始まりました。小学校  
を存続するのならば、今が  
大事な時であるとの事で、  
地区の皆様と御相談したと  
ころ、七二〇㎡の土地を  
出して頂き、町に対し小学  
校用地も出来ました。学校  
改築を御願いしました。苦  
しい町財政の中を約四億五  
〇〇〇万程で体育館、校舎  
園舎を立派に改築して頂き  
ました。体育館並びに外運  
は社会体育の場として造ら  
れ、特に外運は暗渠排水ま  
で作り、町内はもちろん県  
郡下でもめずらしい外運で  
す。外運の片すみに、ゲー  
トボール場を作る様な気運  
も高まり、作りたいと思っ  
ています。地区の社会教育  
体育文化の中心として、大  
いに御利用下さる様願っ  
ています。

## 新郷小学校愛護会基金収支決算報告書

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
納 入 金	3,988,000	建設費	2,547,888
		記念品代	298,000
		備品購入費	155,000
		食糧費	73,130
		消耗品費	34,550
寄 附 金	200,000	その他費用	30,000
預 金 利 子	12,522	除 雪 機	485,000
合 計	4,200,522	合 計	3,623,568

収入 4,200,522円 - 支出 3,623,568円 = 残額 576,954

二宮尊徳の像を、林組さん  
には庭石、村田勘治さんは  
桜の苗木、交通安全母の会  
は記念碑、黒松の手入れ、  
特別寄附等々、校下揚げて  
の御協力を頂き厚く御礼を  
郷の集い発行につき、色  
々申しのべたい事は沢山あ  
ります。簡単に一言申し上  
げ、御礼と致し深謝します。  
ありがとうございます。

# 卒業生に贈る言葉

## 卒業生に贈る言葉

近藤 きくみ

きびしかった冬も過ぎうららかな春が訪れ十人揃って無事卒業を迎えられます事まことに目出度うございます。

思えば丁度六年前新しい学生服にガブガブのズックをはいて緊張した顔でちょこんと講堂に並んで入学式を行った事がついこの間のよう眼の前に浮かんで参ります。私も転動したばかりで皆さんと同じ気持ちで学校生活を始めたばかりでした。

一年生の時、町の音楽会に出場するため、何度も何度も練習した事、学習発表会の劇、夏休み親子で野外学習した事、遠足、運動会、はげみ学習で競争した事など走馬燈のようになつかしく浮かんで参ります。

私の教員生活の最後めぐり合わせた皆さん、どれもこれも印象深くやきついていきます。校門の前で写した写真、今では随分たくましく成長されたことだといつも眺めて居ります。それにも増して新しい校舎で勉強出来た事もさぞか

し一生の思い出になった事と思えます。これもみな町の方々の協力、先生方、ご両親のお陰であることを忘れないでください。

近頃校内暴力、家庭内暴力で騒がれていますが自身を大切に人に迷惑をかける正しい事は勇気を持ってやり遂げる強い心を持つた人になってください。

「命のある限り希望をもて」「一度手をつけた仕事は最後までやり遂げよ」「昨日の不可能は今日の可能となる」「懈怠は人生の最大の敵である」「色々な格言がありますがどれも意味のあることばだと思えます。どんな困難な事にぶつかってもくじけず自分にきびしく人には優しくいたわりの心で接して行ってください。

小学生の一つの節目が終わるわけですが伝統ある母校の名に恥じない立派な中学生になってください。最後に健康と益々発展される事を心からお祈り申し上げます。

「あはたしとお屋の給食を食べた後でした。お腹の皮がゆるんだと同時に、目の上の皮、まぶたも重たくなったのは。だから夢だったのが現実だったのかはつきりしないのですが。」



## 真昼の恐竜

四年生担任 黒田 益 示

あれはたしかお屋の給食を食べた後でした。お腹の皮がゆるんだと同時に、目の上の皮、まぶたも重たくなったのは。だから夢だったのが現実だったのかはつきりしないのですが。「あーッ。」

いつも元気いっぱいのユウイチが、すっとんきょううな声を出した。「なあに、ユウイチ君。へんな声出さないでよ。」

「おい、恐竜だよ。国語の教科書に出てたやつだ。」マサクニが買ったばかりの眼鏡をかけたおして叫んだ。この学級のみんが窓の外を見ると、そこには今から二億年前に栄えた恐竜テイラノサウルスがいてはなないか。七夕生まれのユウコが驚いた声で言った。

「あの恐竜どこかで見たとがあるわ。ね、ミイコ。」「ほんた。あれは私たちが造った恐竜よ。」

とにぎやかなミワが答えた。みんなが教室の後ろを見るのと、そこには天井まで頭のとどいた恐竜はなかった。いや、いなかった。ノウウツタンと呼ばれるジュンが、「恐竜が行っちゃうぞ。」と窓辺にかけよった。

イクオがまん丸の眼をもっと大きくして呼びかけた。「おーい、恐竜。もどつて来い。」

恐竜は緑の芝生の運動場の真ん中で立ち止まり、振り向いた。優しいシンちゃんメグミが泣きながら、「どこへ行っちゃうの。」

「さっさと帰るのね。」とつぶやいた。そして、「これを持っていけ。」とヤスヒロが、サッカーボールをけた瞬間、恐竜もボールも消えたのです。

昭和六十年春新郷小学校を巣立つという学級の十人の皆さん、おめでとございます。皆さんの思い出の写真を見ながら作ってお話します。十人の冒険者達よ。さあ、ガンバレ！

## 一步前進

川越 友 枝

十名の皆さん中学校に向かい、新校舎からの第一回目の卒業おめでとう。一年間という短い間だけたけれども、すばらしい学校生活を送れた事と思います。

十人という小人数が、大勢の中に混じって学ぶのですが、今までの友情の輪を大切に十人が、一つとなって学んだことを、充分に

かして中学校という旅立ちに向かつて下さい。中学生という時期は、将来の見通しを立てる段階に当たる。ただやる、おこられるからやる。

そういう考えは捨てて、今すぐできなくてもじよよに自分の目標というものを持って、その目標を自分の手で自分のものにしてほしいと思えます。

どんなささいな事でも目標をもってやれば、一步前進することが出来ます。十人の皆さん頑張ってください。

又子供達が、自立の道と心の豊かさを尊重し人の心のいたみを知る事のできる人間に育ってほしいと希望します。

## 我子の卒業

吉井 久 子

月日の経つのは早いもので入園式の時、私から、少しも離れず、先生が来なさいと言っても、くっついていた恥ずかしやの我が子が、今はもう卒業を迎えようとしています。振り返って見ますと、運動会、修学旅行キャンプ、鼓笛隊といろいろ楽しかったことや、難しい漢字や計算に苦労したことが、沢山思い出に残っていることと思えます。小学校で習ったことをいかして中学に入学しても頑張っ

いてほしいと思えます。長い間、諸先生方にはいろいろお世話になりました。本当に有りがとうございました。

あまえるな 篠崎 レイ子

這えば立て、立てば歩めの... そんな気持ちで、我が子を見つめつづけて十二年。驕を忘れ、後になって気がついて慌てたり、いろんな失敗をくり返してき

ました。そんな子も四月から早や中学生！五十九年度新築なった校舎に学ぶこと一年。もう少し、思う間もなく卒業を迎えます。先生方に、甘やかされるのも、もう終ります。これからは学校でも、家庭でも自立、出来る子として、要求されるでしょう。一日も早く、中学生としての自覚を、持ってもらいたいです。

校長先生はじめ諸先生方、長い間本当にお世話になりました。今後共、末長く見守っていて下さいますよう、お願い申し上げます。

## 編集後記

新校舎から巣立つ第一回目卒業生諸君におめでとうございませう。この喜びをいつまでも心に残し、益々張り切って充実した中学生活を送って下さい。